

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371600731
事業所名	グループホームあすなる

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し利用者と一緒に回覧板を回したり、地域の大掃除やお祭り・敬老会などの行事に参加している。また、散歩時にはこちらから挨拶をしたり、軍手とゴミ袋を持参してのゴミ拾い運動を実施している。事業所の夏祭りには回覧板やポスターを貼り子供会にも呼びかけ、地域の人が多く参加してくれた。浴衣や甚平を着た利用者は子ども達とスイカ割りや輪投げ・ヨーヨーつりなどで楽しく過ごした。また、中学生の職場体験や傾聴ボランティアなどの訪問もある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 利用者・家族・民生委員・薬剤師・いきいき支援センター職員の参加を得て、偶数月に開催している。会議ではスライドを見ながら活動報告を行い、利用者は自分の写真が出ると感想など発言したり、メンバーからの問いかけにも答えている。また、いきいき支援センター職員から徘徊見守り支援や認知症サロンの説明、民生委員から地域の行事などを教えてもらうなど、メンバーからの助言や情報を運営に反映するように努めている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区役所には認定更新時や生活保護関係で毎月出向いたり、分からないことや困ったことがあれば相談し連携を図っている。また、散歩の途中に立ち寄ってパンフレットを買ったりして情報収集をすることもある。運営推進会議でいきいき支援センター職員から聞いた介護フェスティバルに利用者も参加した。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 職員は日々の関わりの中で利用者の意見や要望を聞いており、家族からは面会時や年2回(3月・9月)の家族交流の場などで聞いている。個人記録を読んだ時にどの職員が書いたか分からないとの意見があり、職員の顔写真掲示と名札を付けることになった。毎月写真と行事予定を記載した「あすなる通信」と、1ヶ月の様子を書いたバイタルチェック表を家族に送っている。家族アンケートにも「希望は殆ど実行してもらっているので満足している。」と評価を得ている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。